

24V コードレス乾湿両用掃除機

取扱説明書

この度は「24V コードレス乾湿両用掃除機」をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分にご理解の上、安全に正しくお使いくださるようお願い致します。

お読み終わった後もこの取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

なお、不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡事故または重傷を負う可能性が想定される」内容
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される」内容

電動工具共通の安全上のご注意

- 「電動工具」とは電源式（コード式）電動工具、または電池式（コードレス）電動工具を指します。
- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、ご使用前に必ず取扱説明書に目を通し、下記の「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しくご使用ください。
- お読みになった取扱説明書はいつでも見られるように必ず保管しておいてください。

警 告

1. 作業場は明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や狭い作業台は、事故の原因となります。
 - ・ 強風の時や夜間や薄暗い場所での使用は危険です。昼間の明るい時間帯で作業してください。
2. ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
 - ・ 火花が引火して火災の原因となります。
3. 使用中は子どもや第三者を近づけないでください。
 - ・ 事故の原因となります。
4. 電源プラグは適正な電流・電圧のコンセント、発電機でご使用ください。
 - ・ 一般家庭用電源（AC100V）対応機です。出力を確認のうえ適正な電源・延長コードをご使用ください。
5. 本体・スイッチ・プラグ・バッテリーの修理や改造をしないでください。
 - ・ 本製品は該当する安全規格に適合しています。改造されると火災や感電の恐れがあります。
6. 感電に注意してください。
 - ・ 使用中に、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。（例えば、金属製のパイプ、エアコンの室外機、電子レンジ、冷蔵庫の外枠など）
7. ペースメーカーなどをご使用の方は、稼働中の本品に近づけないでください。
 - ・ 電磁波の影響により誤作動を起こす可能性があります。
8. 雨天時の取扱に注意してください。
 - ・ 雨ざらしにしたり、極端に湿気の多い所や高温な場所で保管をしないでください。
 - ・ 濡れた手でコンセントプラグやバッテリーに触らないでください。
 - ・ 小雨、濃霧、雨天時の使用はおやめください。感電の危険があります。

9. 電源コードの扱いに注意してください。

・ 電源プラグやコードは使用前に損傷や破損がないかよく点検をしてください。使用時は無理に引っ張ったり挟み込んだりしないでください。

・ 電源コードは熱・油・角のあるところで使用しないでください。電源プラグやコードが損傷したり、傷んだりしますと、感電、火災の恐れがあります。

10. 使用環境に見合った延長コードを使用してください。

・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードの延長コードを使用してください。

・ 延長コードを使用して充電する場合は十分な太さの出力に見合ったコードを使用してください。

11. 使用しない電動工具の保管は子どもの手の届かない、乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。

・ バッテリーは本体から抜き、充電器はプラグからコードを抜いて保管してください。

12. 無理な使用を避けてください。

・ 取扱説明書にある機能を超えた作業はしないでください。能力に見合う速さで効率的に作業をしてください。

・ 小型仕様の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なうような負荷のかかる作業に使用しないでください。

・ 著しく疲れている時やアルコール、医薬品等の摂取により正常な判断ができない体調の場合は使用しないでください。

13. 作業に適した服装で行ってください。

・ だぶついた衣服やネクタイ・ネックレス等の回転部に巻き込まれる恐れがあるものは着用しないでください。

・ 屋外での作業の場合には手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

14. 安全保護具を使用してください。

・ 作業時は、保護めがねを使用してください。必要に応じて、ヘルメット、防じんマスク、防音保護具を併用してください。

15. 無理な体勢で作業しないでください。

・ 斜面など足場の不安定な場所、無理な姿勢での作業は思わぬ事故になる恐れがあります。

16. 不意な始動を避けてください。

・ 本体を移動する際はスイッチに手がかからないよう注意してください。

・ 移動、手渡し、メンテナンスの際は本体からバッテリーを抜いてください。

・ 稼働させたまま放置しないでください。

17. 破損・故障・異常がないか確認のうえ、電源を入れてください。

・ 使用前に本体の破損・部品の破損・締め付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか十分に確認してから使用してください。また、本体を誤って転倒、ぶつけた際も同様に確認してからご使用ください。

・ 故障・異常が発覚した際は、大変危険なためただちに使用をやめ、販売元または弊社まで修理依頼をお申し付けください。

・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

18. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

・ 点検・調整・清掃する場合は電源を切り、バッテリーを本体から抜いて作業を行ってください。

・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従って確実に取り行ってください。

・ 使用前に、調節に用いたレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。振動によって飛散し、怪我をする恐れがあります。

・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

19. 取扱説明書で指定された正しい付属品やアタッチメントをご使用ください。

20. 充電器のある電動工具の充電器は、充電以外の用途には使用しないでください。

「バッテリー工具」安全上のご注意

- ここまでは電動工具共通の注意事項を記載しましたが、さらに「バッテリー工具」として以下の安全上のご注意を守ってご使用ください。（「バッテリー工具」とは、外付けのバッテリーを充電・装着して使用する電動工具のことです。）

警 告

1. 専用のバッテリー以外は使用しないでください。
2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。
3. バッテリーに釘をさしたり、衝撃を与えたりしないでください。
4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
5. バッテリーの端子に金属などを接触させないでください。（特に金属と一緒に保管しないでください）ショートする恐れがあります。
6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温になる恐れのある場所で充電・使用・保管しないでください。
7. 極端に高温・低温・高湿度の場所で保管するとバッテリーが液漏れする恐れがあります。漏れた液はやけどや炎症の原因となりますので絶対に触らないでください。万が一目に入ったら、すみやかに水で洗い流し、眼科医に受診してください。
8. 正しく充電してください。
 - ・この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
 - ・温度が0℃未満、または温度が45℃以上の所では、バッテリーを充電しないでください。
 - ・充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
 - ・充電器を使用しない時、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
9. 専用の充電器以外では、充電しないでください。
 - ・充電以外の目的で充電器を使用しないでください。
10. バッテリーを充電したまま長期間放置・保管しないでください。
11. 次の場合は工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。
 - ・保管、または修理する場合。
 - ・付属品を交換する場合。
 - ・本体の整備や掃除をする場合。
12. 不意な始動を避けてください。
 - ・バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
13. 充電中、極端に発熱したり、膨張、発煙などの異常に気づいた場合は直ちに使用を中止してください。
14. 火災発生の恐れがある場所では充電しないでください。
 - ・ホコリのある所、燃えやすい布製品の上、ビニールなどは発火の原因となります。
15. バッテリーを水などの液体にひたさないでください。ショートの原因となります。
16. 稼働可能時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
17. 使用済みのバッテリーは一般ゴミとして捨てないでください。
18. 落としたり、強い衝撃を与えられたバッテリーは使用しないでください。

「24V コードレス乾湿両用掃除機」 安全上のご注意

●ここまでは電動工具共通の注意事項を記載しましたが、さらに「24V コードレス乾湿両用掃除機」として以下の安全上のご注意を守ってご使用ください。

警 告

1. 火災の原因となりますので、下記の物は吸引しないでください。
・切断後の高熱を持った木屑・摩擦熱を持った鉄屑・有害物質（粉塵、蒸発によって有害物質を発生するものも含む）・吸引直後のタバコの吸い殻や熱い灰・洗剤、石鹼水などの発泡性の液体・爆発性物質（石灰、水素など）・発火性物質（アルミニウム、リン、亜鉛、マグネシウム、チタンなど）・揮発性液体（シンナー、ガソリン、灯油、ラッカーなど）
2. 本製品は防爆構造になっておりません。ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの爆発性や揮発性の高いものの近くでは使用しないでください。
3. 本体を倒した状態で稼働させないでください。
4. 濡れた手でスイッチを操作したり、バッテリーの抜き差しをしたり、組み立て、充電をしないでください。
5. 誤って落としたり、ぶついたりした時は、必ずよく点検してください。
・破損や亀裂、変形があると、感電や誤作動の原因になります。
・落とすなどして強打したバッテリーは危険なので使用しないでください。
6. 稼働中は吸い込み口から手や指を入れたり、覗き込んだり、口や顔を近づけたりしないでください。
7. 吸い込み口や吹き出し口を人や動物に向けたりしないでください。
8. 防塵マスクや保護メガネを使用してください。
9. 本体を稼働させたまま目を離したり、放置しないでください。必ず作業者が吸入口を操作し、本体に付き添うようにしてください。
10. 本体を乱暴に引き寄せたり移動させたりして、本体を転倒させないようにしてください。
11. 作業中の通気口、バッテリーは高温になっている場合がありますので触れないようにしてください。
12. 通気口は塞がないでください。付近に飛び散った泥や土埃はよく拭き取ってください。故障や火災の原因となります。
13. 使用中は通気口から吸い込まれる恐れのある、髪の毛やマフラー、細かい飾りのある洋服などを近づけないように注意してください。
14. 使用中、モーターから異音がしたり、誤作動したりした時は、直ちにスイッチを切って使用を中止し、販売店または弊社に点検・修理を依頼してください。

注 意

1. 吸引口や吹き出し口を塞いだ状態で稼働させないでください。
 - ・バキュームの際に枯れ葉などで吸い込み口が塞がった場合はすぐにスイッチを切り、詰まった枯れ葉は取り除いてください。
 - ・水槽などの大量の水に吸入口を浸して吸い込み続ける、などのポンプの使用法はしないでください。
 - ・ブロワーの際は飛ばす対象物に直接押し当てないでください。
2. 火気の近くで使用しないでください。
3. ガラスや釘、刃、針など鋭利な物を大量に吸わせないでください。
4. 本体の上に乗ったり、座ったり、踏み台にしたりしないでください。
5. セメント粉、トナー、凝固剤など固形状になる物を吸い込まないでください。
6. 使用中は無理な力をかけたり、用途として想定されている以上の負荷をかけたりしないでください。
7. 湿式掃除機を使用する際は、カートリッジフィルターを取り外し、スポンジ袋(フィルター)を取り付け、必ず紙パックは取り外してご使用ください。
8. 湿式掃除機を使用する際は、60℃以上の熱い液体は吸引しないでください。
9. 乾湿掃除機を使用する際は必ずカートリッジフィルターを使用してください。
10. 本体を稼働させたまま放置しないでください。
11. 使用前にフィルター(カートリッジ・スポンジ袋いずれか使用するもの)が破れたり壊れたりしていないか確認してください。破れたフィルターのまま稼働させないでください。火災や故障の原因となります。
12. 大きなビニール袋や長いテープなどを吸い込まないでください。タンク内でそれらがフィルターを塞いだまま稼働するとモーター故障の原因となります。
13. 本品は家庭でのご使用を目的とした掃除機です。工業用や農場用など業務用クリーナーとして使用しないでください。
14. 使用後は取扱説明書に従い必ずお手入れ・清掃をしてください。

【法令を遵守してご使用ください】

- 騒音規制について…騒音・振動規制法については、各自治体ごとに政令で定められた内容が異なります。お住まい管轄の法令をご確認のうえ、近隣の方へのご迷惑とならないよう十分に配慮してご使用ください。
- 本体のご使用に際し、本製品に不備がない事由により使用者が第三者に損害を与えた場合は、その責任を負う義務があります。
- リチウムイオンバッテリーを処分する際はお住まいの自治体の廃棄規程に従い、正しく処分してください。廃棄方法を誤ると発火や発熱の恐れがあり大変危険です。

基本仕様

24V コードレス乾湿両用掃除機		LV CS16-JP
バッテリー	24V (リチウムイオンバッテリー)	
連続使用時間	約 23 分※	
最大風量	35CMF(1m ³ /分)	
最大真空圧	9kPa	
最大吸引力	70W	
サイズ(約)	本体:幅47×奥行47×高さ52 cm ホース長さ:1.8m	
タンク容量(約)	20L	
重さ(約)	本体:4000g バッテリー:440g	
材質	ABS樹脂、ステンレス、スチール、アルミ、他	

充電アダプター	
電圧	100V
周波数	50-60Hz
充電時間目安	約 160 分

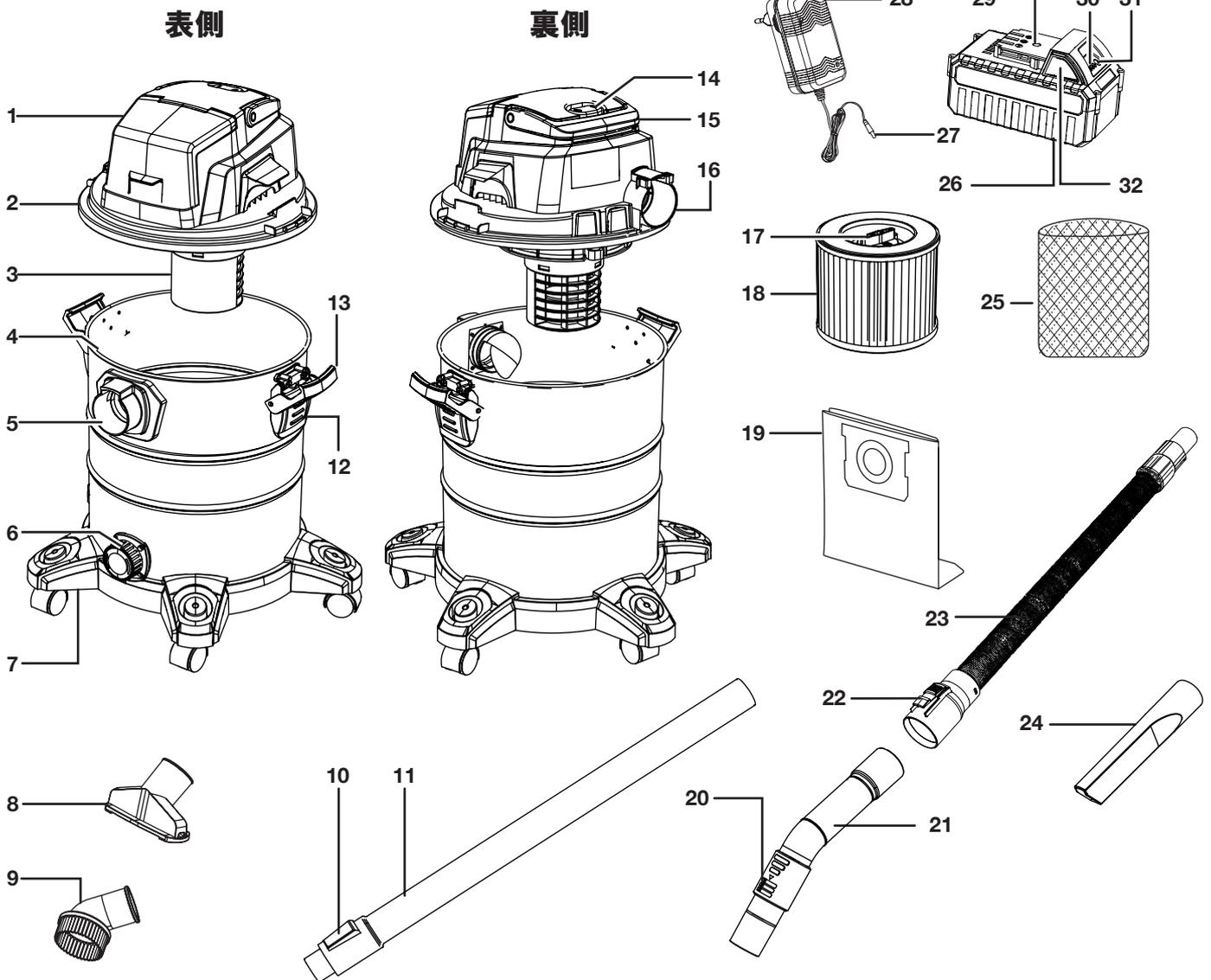
※連続使用時間は新品・無負荷時での計測値です。使用状況によって異なりますのでご了承ください。

※経年劣化とバッテリーの摩耗により、バッテリーの持ちと充電時間は前後します。

専用付属品	
24V バッテリー	型番 AL C40-JP 仕様: 96Wh 4.0Ah 1400mA
カートリッジフィルター	型番 24V-WDV6000-HFILTER 仕様: HEPA フィルター
メッシュフィルター	型番 24V-WDV6000-SPFILTER
紙パック	型番 24V-WDV6000-BAG

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

各部名称・セット内容



- | | | | |
|----------------|--------------------|------------------|-----------------------|
| 1. バッテリーボックス | 10. 伸縮ロックボタン | 20. 空気調節穴 | 26. 24Vバッテリー |
| 2. パワーヘッド | 11. 伸縮パイプ | 21. 調節ハンドル | 27. 充電端子 |
| 3. フィルターバスケット | 12. ロックレバー (両側) | 22. ホース取り外しボタン | 28. 充電アダプター |
| 4. ダストタンク | 13. ロックレバーフック (両側) | 23. ホース | 29. 充電端子差込口 |
| 5. ホース差込口 | 14. オン/オフスイッチ | 24. 隙間ノズル | 30. バッテリー残量ランプ |
| 6. 排水口 | 15. 取手 | 25. スポンジ袋(フィルター) | 31. バッテリー残量確認ボタン |
| 7. キャスター (5カ所) | 16. 排気口 | | 32. バッテリー取り外しボタン (両側) |
| 8. レギュラーノズル | 17. フィルターロック | | |
| 9. ブラシノズル | 18. カートリッジフィルター | | |
| | 19. 紙パック | | |

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

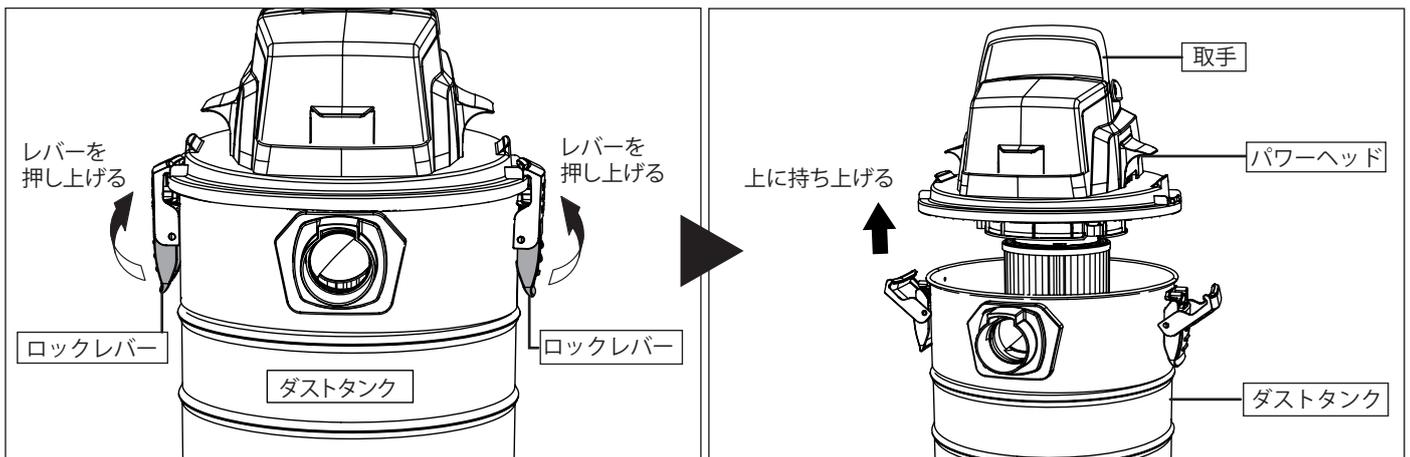
組立方法

⚠ 注意

- ・全ての組立が完了してからバッテリーをセットしてください。
- ・組立、アタッチメントの交換、解体、清掃は、必ずスイッチがオフの状態で行なってください。特にパワーヘッドはスイッチをオンの状態のまま取り外したり、タンク内を覗いたりしないでください。

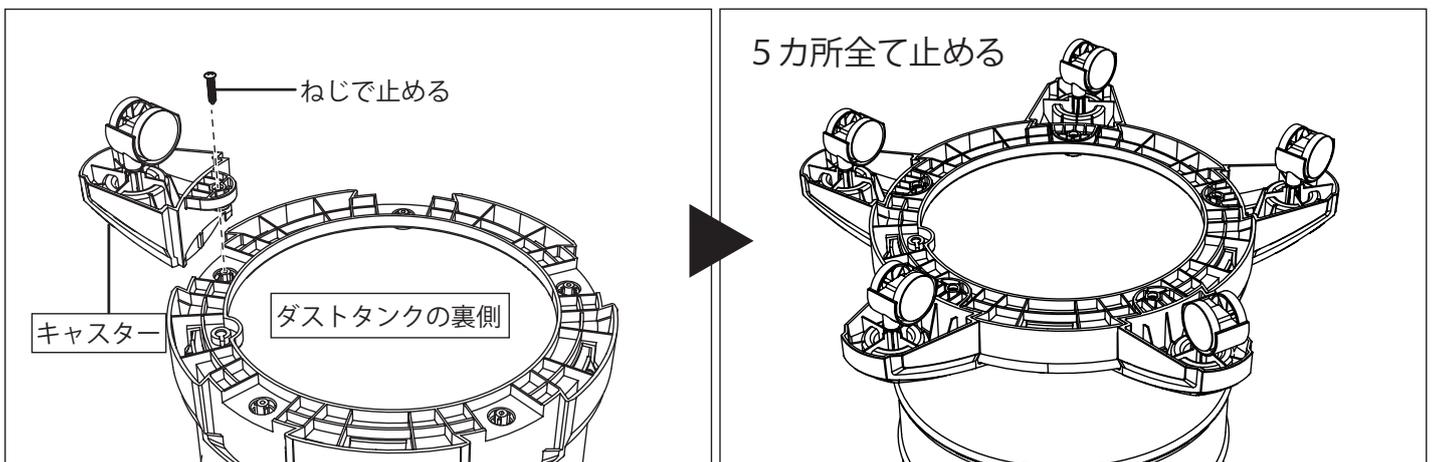
パワーヘッドの外し方：

- ①両側のロックレバーを押し上げてロックレバーフックを外します。
- ②取手を持ってパワーヘッドを上を持ち上げて外します。
- ③お届け時はタンクの中に入っているフィルターやキャスター、アタッチメントや梱包材を全て取り出してください。



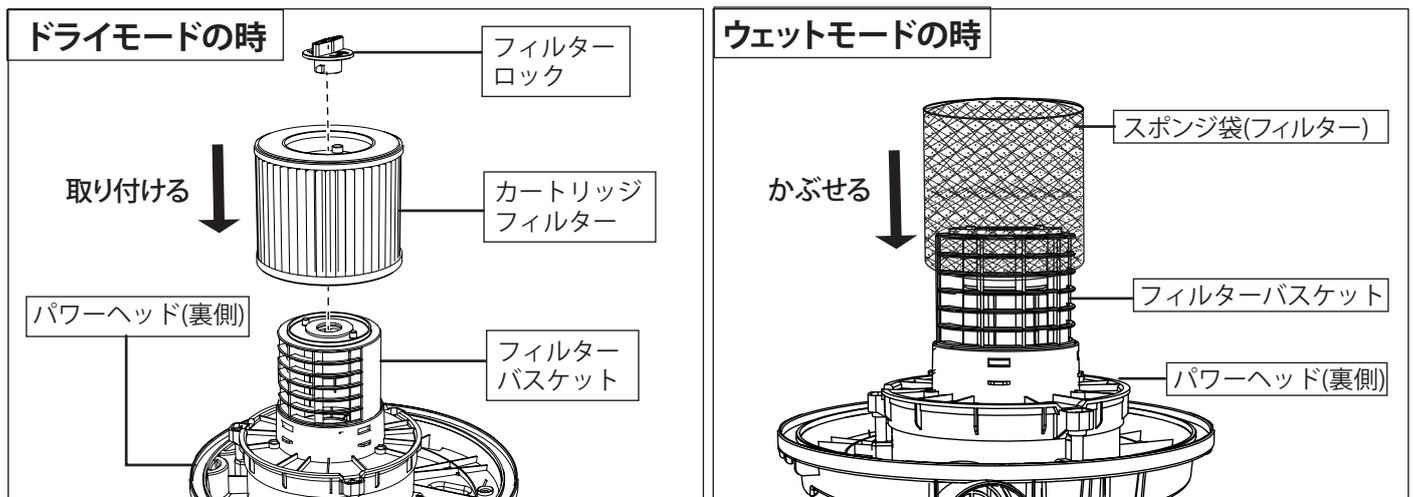
キャスターの取り付け方：

図のようにダストタンクを裏返しにしてキャスターを奥まで差し込み、ネジで固定します。全部で5カ所のキャスターを取り付けてください。(ネジは予備用として多く付属されています。余分なネジは紛失に備えて保管してください。)

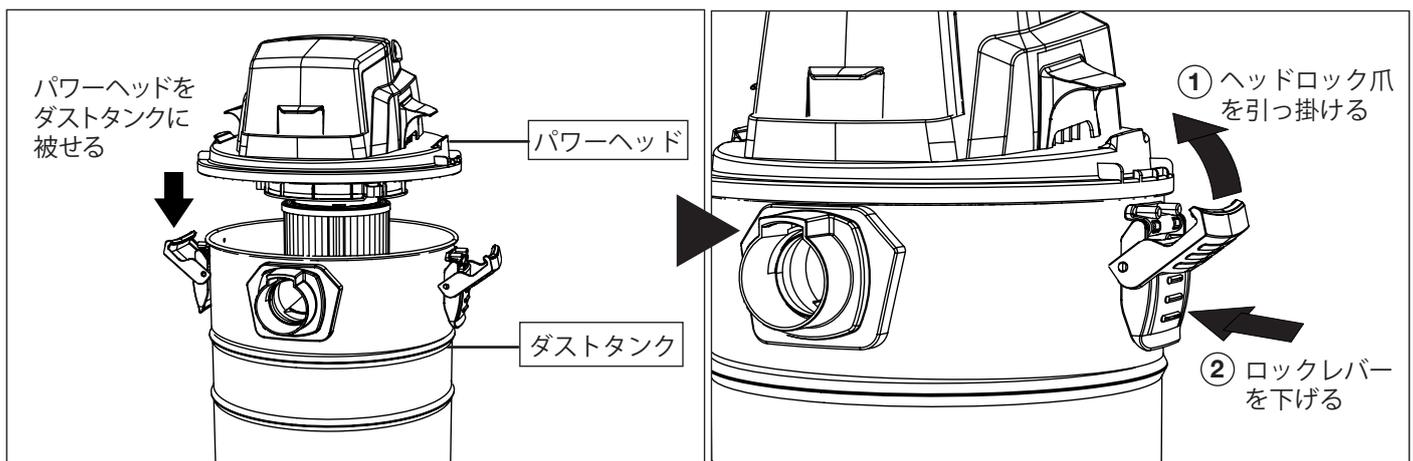


組立方法

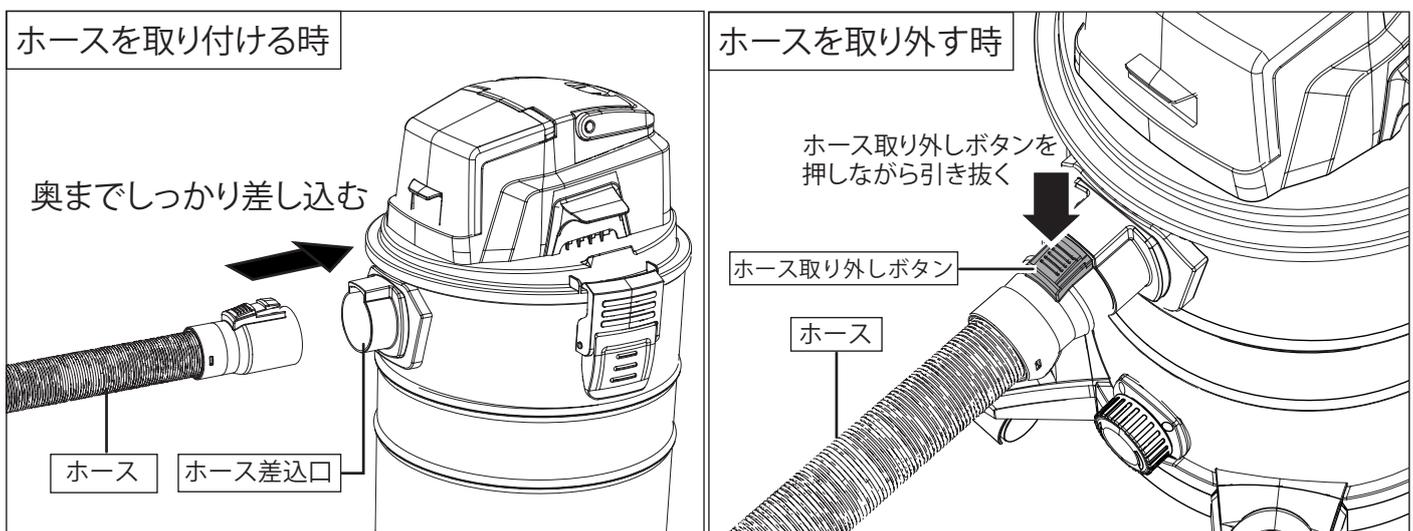
フィルターの取り付け：用途に合わせてフィルターを付け替えてください。詳しくはP15～の使用方法をご参照ください。



パワーヘッドの取り付け方：パワーヘッドをダストタンクの上へのせ、ロックレバーのフックを両側の突起に引っ掛けてからロックレバーを下げます。パワーヘッドには前後があります。逆向きでは蓋が閉まらないのでよく確認してください。

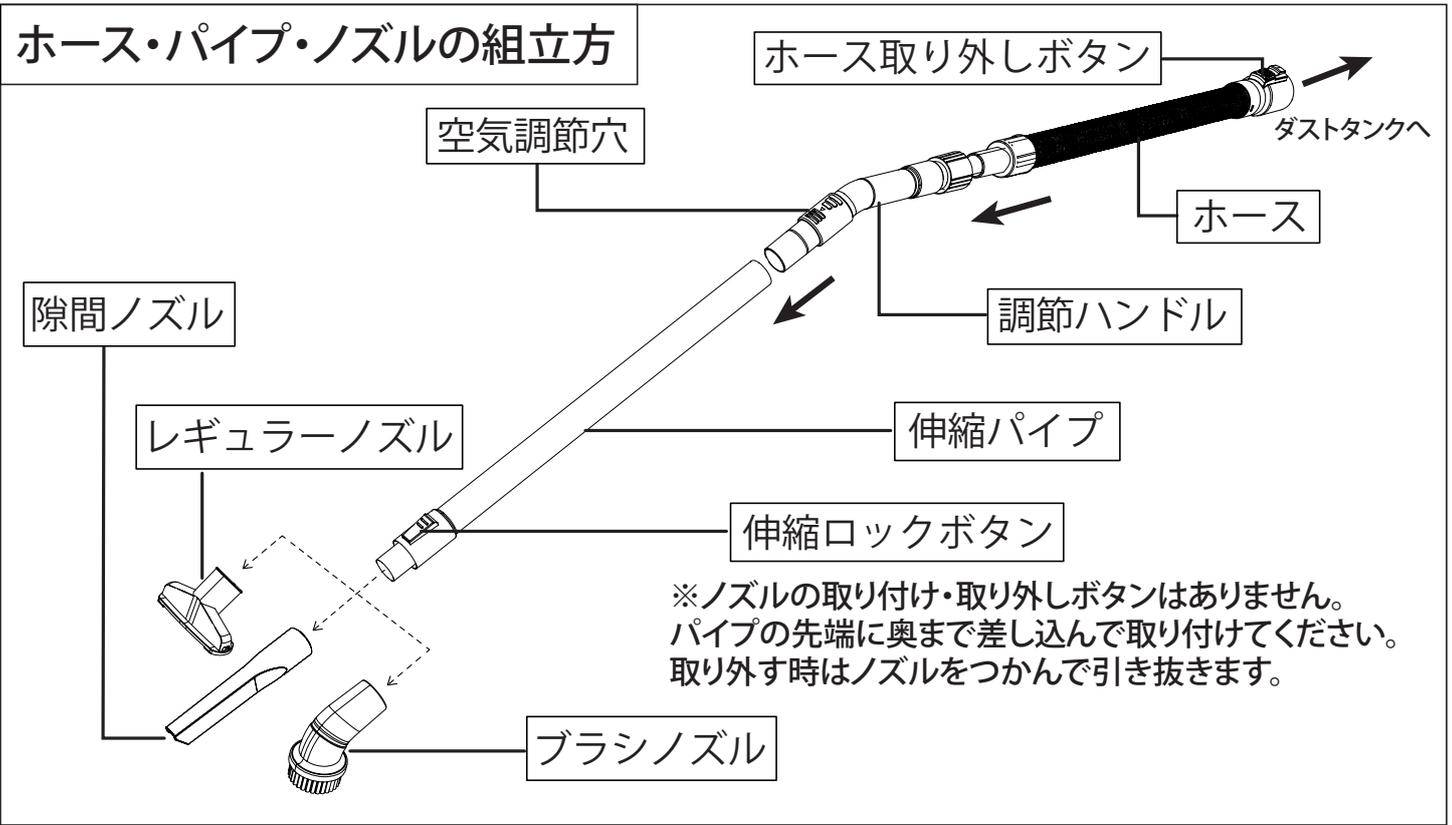


ホースの取り付け・取り外し方：ホースをダストタンクのホース差込口にさし、奥までしっかり押し込みます。取り外す際は、ホースの取り外しボタンを押しながらホースを引き抜いてください。



伸縮パイプ、調節ハンドル、ノズルの取り付け方：

ホースを先にダストタンクに取り付け、調節ハンドル、伸縮パイプの順に差し込んでください。ノズルは用途によって付け替えてご使用ください。



ノズルの種類 3種類のノズルがセットされています。

- **レギュラーノズル**…通常のゴミ屑や液体を吸い込むのに適しています。
- **ブラシノズル**………ホコリのような軽いゴミや隙間の砂埃を掻き出しながら吸い込むのに適しています。
- **隙間ノズル**………届きにくい隙間に入り込んだ細かいゴミや液体を吸い込むのに適しています。

モードの種類 3つのモードがあります。

• ドライバキュームモード

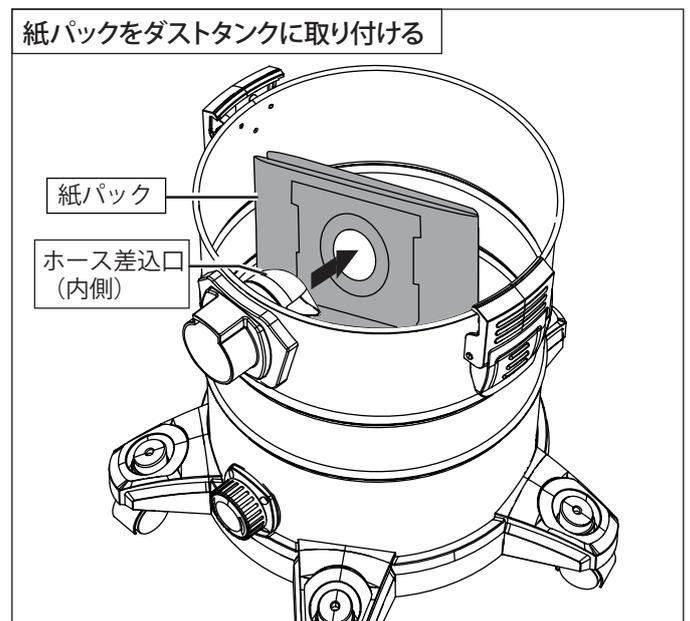
掃除機として使用いただくモードです。
付属品の紙パックの併用をオススメします。

• ウェットバキュームモード

液体、くずゴミを一緒に吸引できるモードです。カートリッジフィルター、紙パックは使用しないでください。

• ブロワーモード

埃や木屑などの軽いゴミ屑を飛ばして集める時などにご使用いただけます。

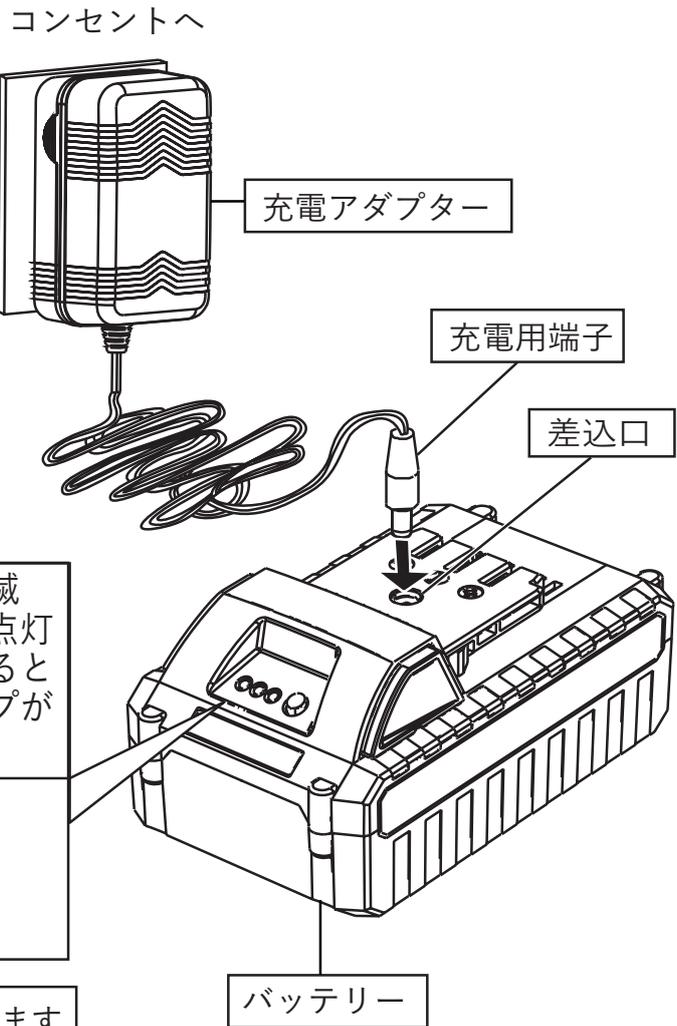


※詳しくは P15 ~ の使用方法をご参照ください。

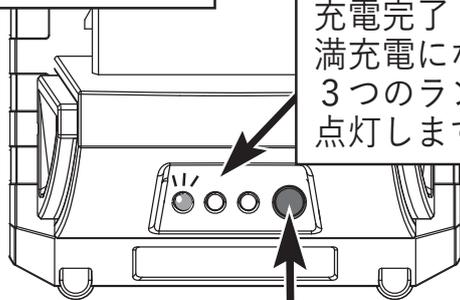
充電方法

バッテリーは工場出荷後、放電により十分に充電されていない場合があります。充電を試みる前に、すべての安全に関する指示をよくお読みください。

充電アダプターの端子を直接バッテリーの差込口に差し込んでから、コンセントを入れてください。充電が始まると充電ランプが点滅します。



残量ランプの見方



充電中：点滅
充電完了：点灯
満充電になると3つのランプが点灯します。

通常時、ランプは消灯していますが、右側のボタンを押すとランプが点灯し、バッテリーの残量が確認できます。

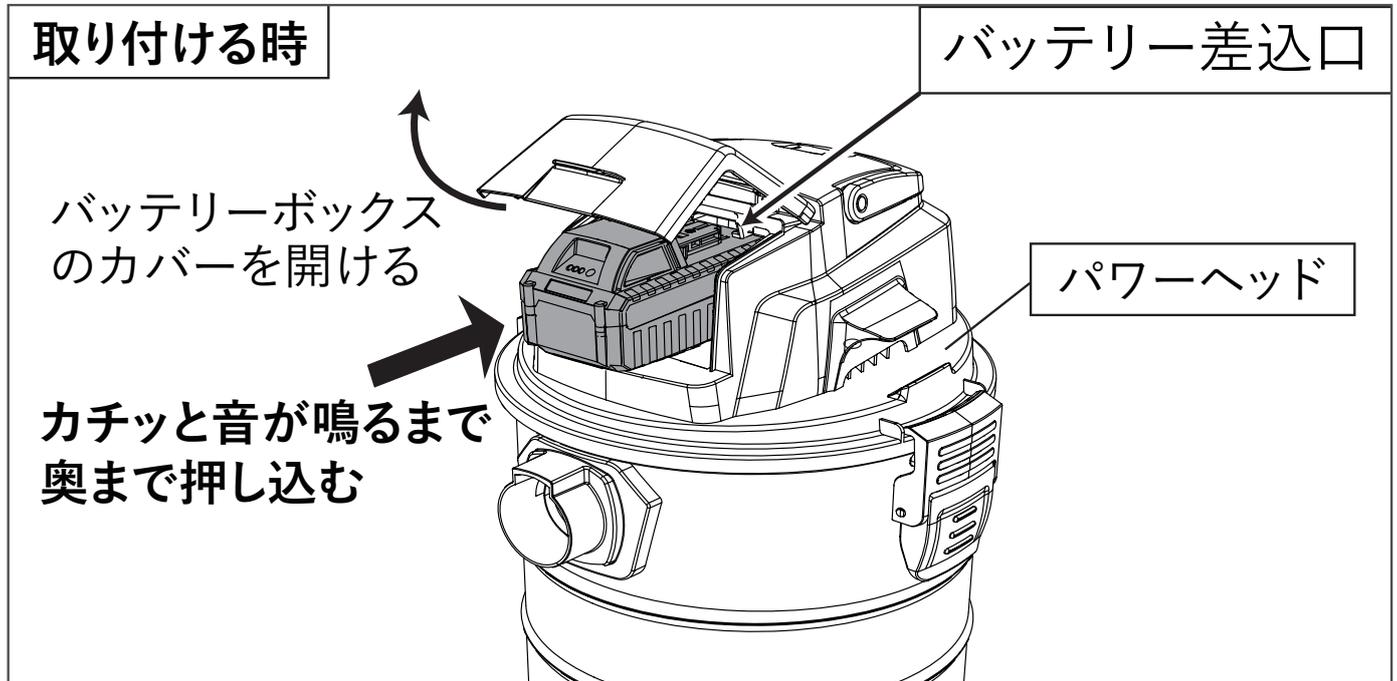
⚠ 注意

- 1, バッテリー自体の劣化や本体モーターのオーバーヒートを防ぐことを目的に、このバッテリーには安全装置が内蔵されています。
 - ・使用中、長時間の使用や過重作業など負荷がかかりすぎた場合にはバッテリーが自動停止することがあります。この場合、スイッチを入れても本機は稼働しなくなります。
 - ・バッテリーが自動停止した場合は作業を停止し、本体スイッチを切り、バッテリーを取り外して、30分以上本体とバッテリーを休ませてください。
- 2, バッテリーの容量が少なくなると自動停止します。
 - ・残量不足によって自動停止した場合に、スイッチを入れ直すと再び稼働することがあります。この場合にはバッテリーを充電してください。
- 3, バッテリーを完全に放電させますと、バッテリー寿命が大幅に低下する恐れがあります。
 - ・電池残量不足で停止するようになった状態で製品を使用しないでください。
 - ・長期使用されない場合でも事前に充電してから保管するようにしてください。

バッテリーの取り付け・取り外し方

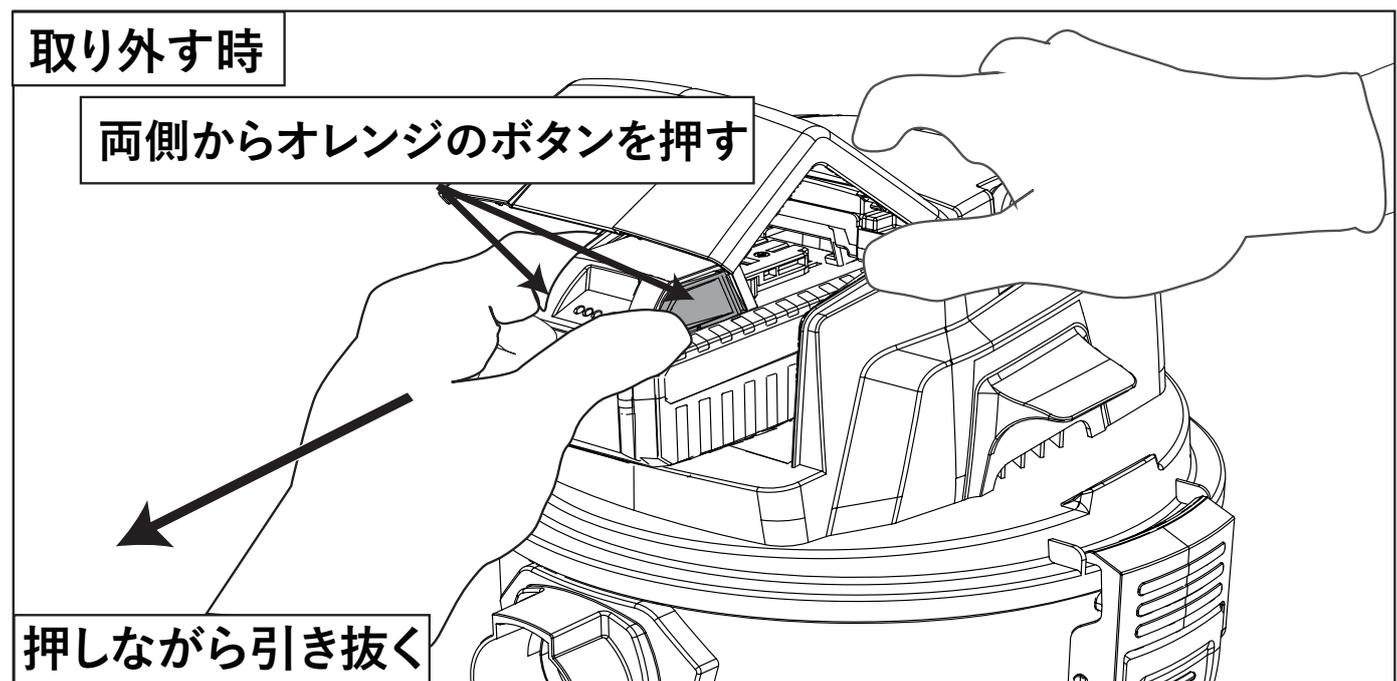
バッテリーの取り付けは必ず全ての組立や接続が完了した後におこなってください。

バッテリーボックスのカバーを上に向けて開けたら、上部にある差込口に、まっすぐ奥までしっかり押し込んでください。「カチッ」とはまった音がします。



※レールに対しずれたまま差し込んでいると、稼働しなかったり、奥までしっかり押し込めないことがあります。バッテリーの溝がしっかり本体側差込口のレールにはまっていることをご確認ください

取り外す時は、バッテリーの取り外しボタンを両側からしっかり押し込みながら、引き抜いてください。(バッテリーは取り外さないと充電できません。)

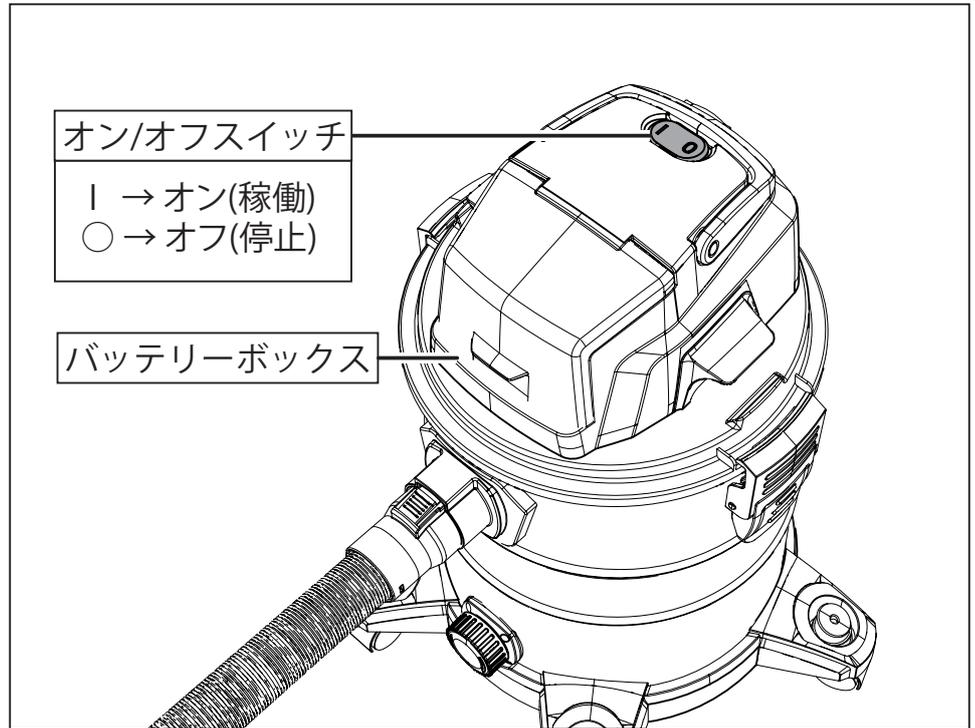


※上側にあるオン/オフスイッチを押さないように注意して行ってください。

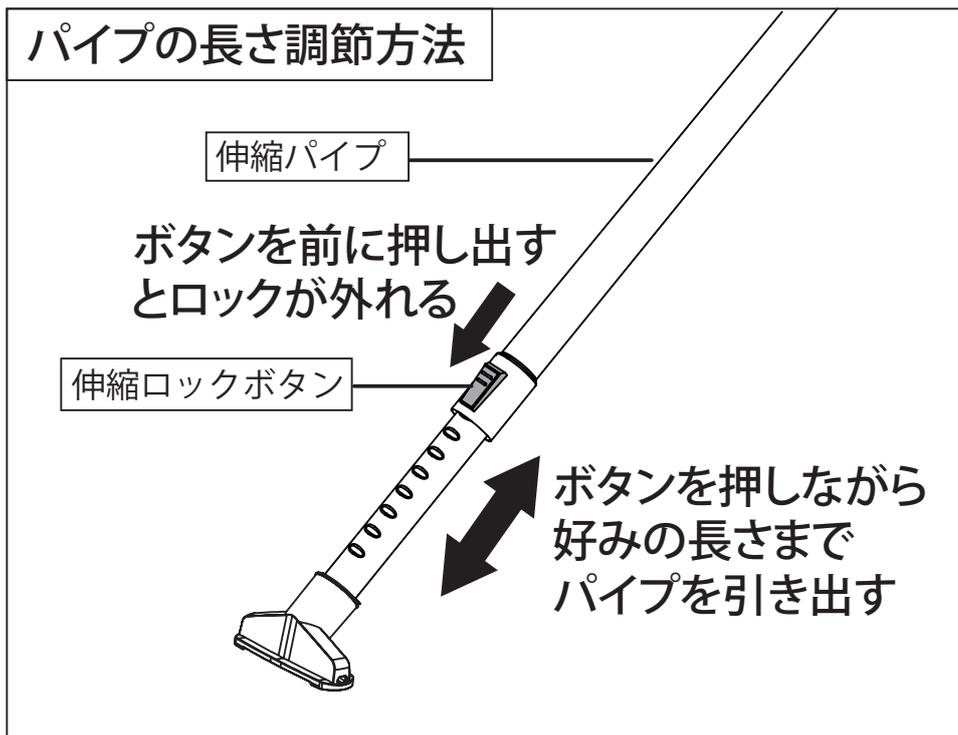
操作方法

スイッチの入れ方：

バッテリーボックスの隣、パワーヘッドの上側に、稼働スイッチがあります。オンにすると吸入が始まるため、必ず全てのセッティングが終わったのを確認した後にスイッチを入れてください。



パイプの長さ調節方法



伸縮パイプ調節：

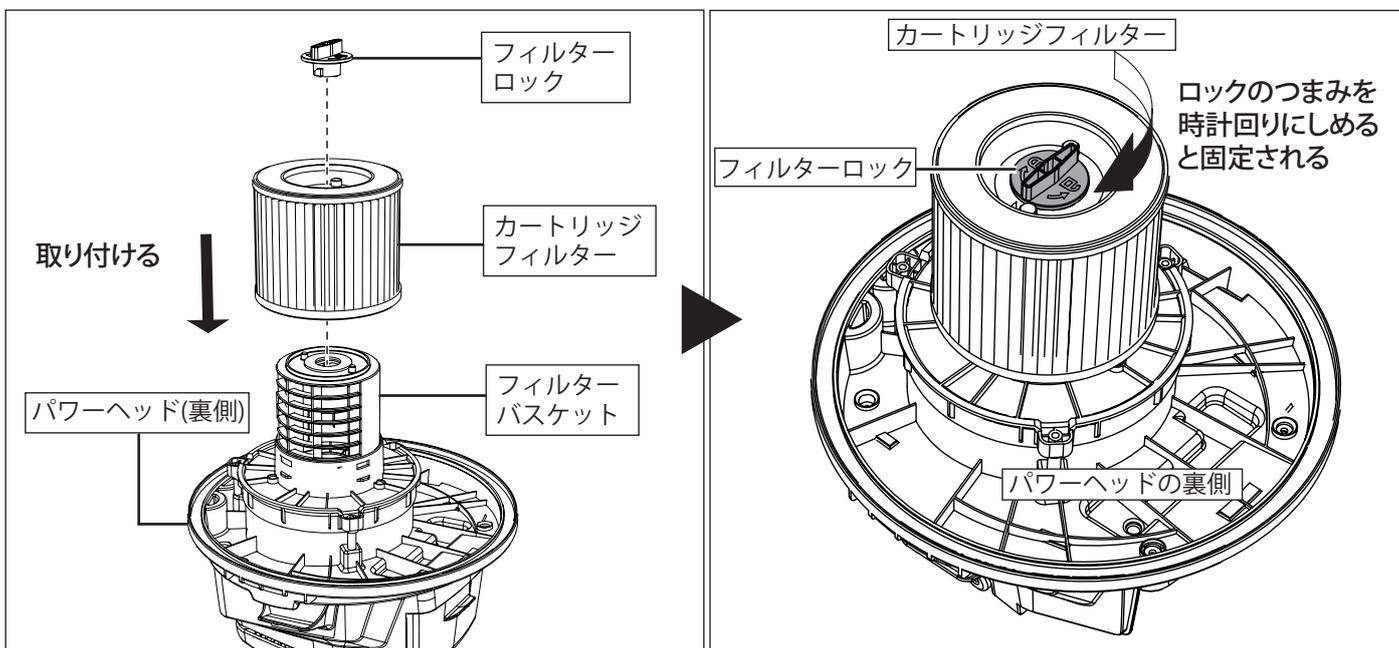
伸縮ロックボタンを親指で前に押し出すとロックが外れます。ボタンを押しながら内側のパイプを引き出すと伸縮でき、ロックボタンから指を離すと固定されます。

⚠ 注意

- ・スイッチをオンに入れたままバッテリーの抜き差しをしないでください。
- ・パワーヘッドが確実に取り付けられているのを確認してからスイッチを入れるようにしてください。
- ・稼働中にパイプを伸縮させないでください。不意な事故の原因とな大変危険です。

ドライバキュームモードでの使用

ドライバキュームモード（乾式掃除機）で使用する場合はカートリッジフィルターを使用します。フィルターを取り付けていない場合は事前に下記の手順でフィルターバスケットにカートリッジフィルターを取り付けてください。



※フィルターバスケットとカートリッジフィルターに空いている穴の形が同じ向きに合わさっていないと、フィルターロックをうまく差し込むことができません。つまみが回らない時は二つの穴が合っているかご確認ください。

⚠ 注意

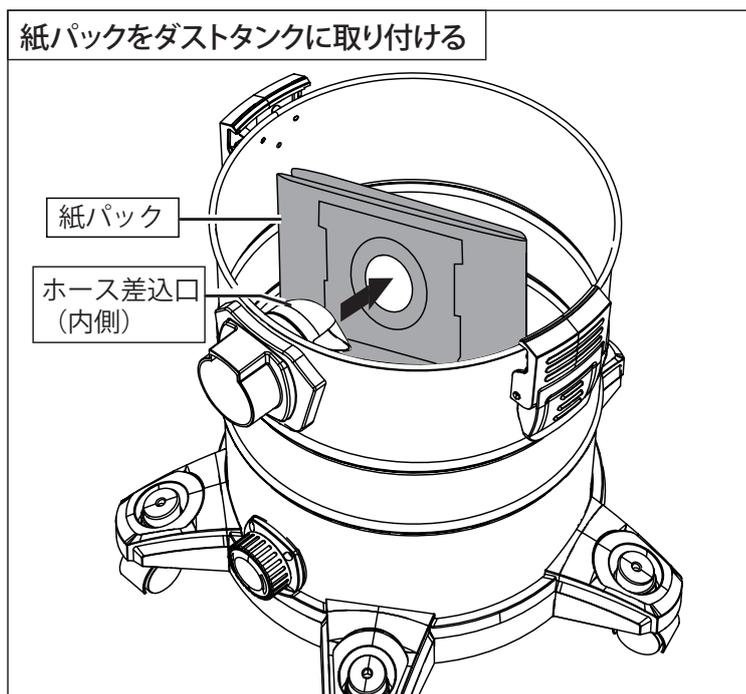
- ・必ずカートリッジフィルターを取り付けてご使用ください。
- ・使用前にカートリッジフィルターに破れや穴がないか確認してください。破損したフィルターの使用はモーター故障の原因となります。

紙パックの取り付け方：

ドライバキュームモード（乾式掃除機）では紙パックなしでも使用できますが、ゴミを捨てる際にタンク内のゴミを集める必要なく楽に捨てられるため、紙パックの使用をおすすめします。

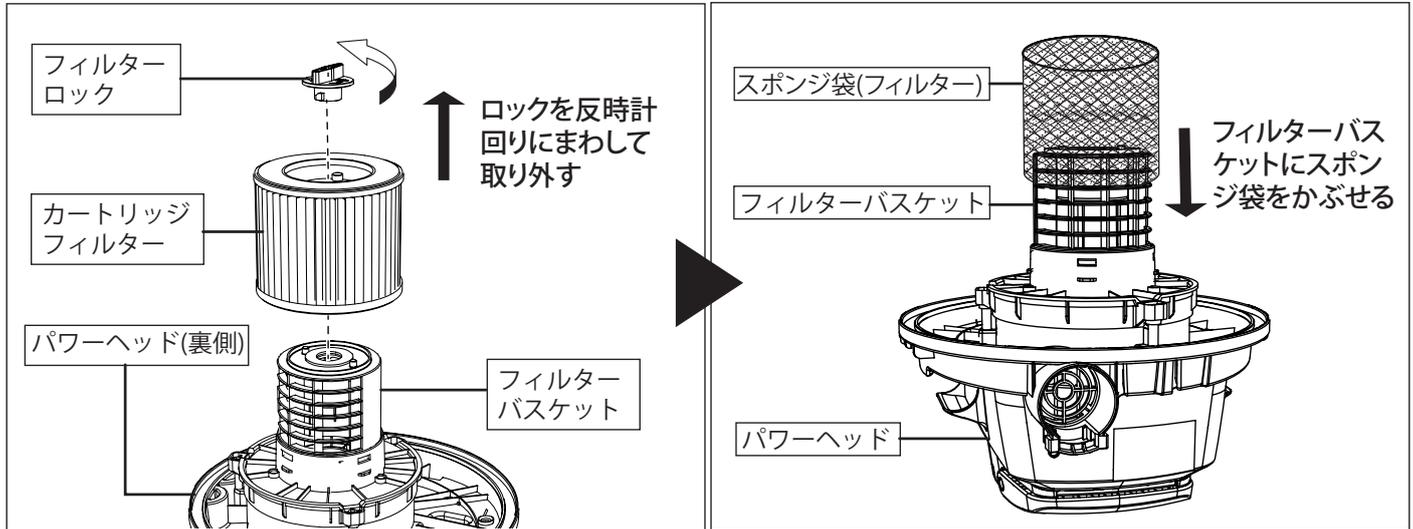
特に細かい粉塵や砂埃を吸引する際には紙パックをご利用ください。

紙パックは右図のように穴をホース差込口のタンク内側吸入口にしっかり奥まで差し込んで取り付けます。



ウェットバキュームモードでの使用

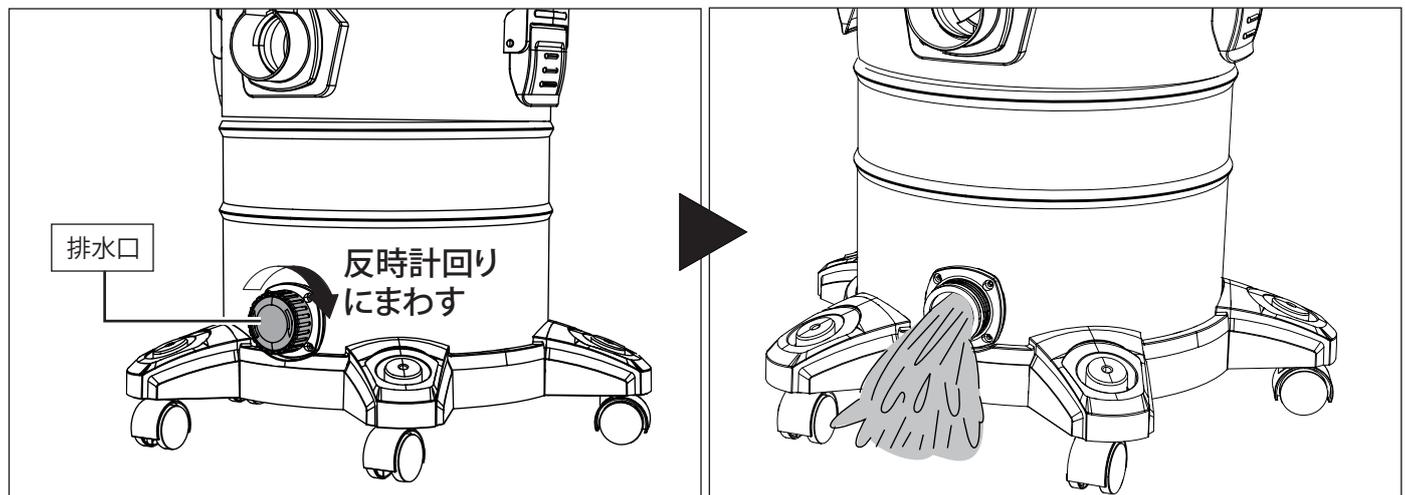
ウェットバキュームモード(湿式掃除機)で使用する場合はスポンジ袋(フィルター)を使用します。カートリッジフィルターを取り付けている場合には事前に下図の手順で取り外し、フィルターバスケットにスポンジ袋を直接かぶせて取り付けてください。(紙パックは使用しないでください。)



⚠ 注意

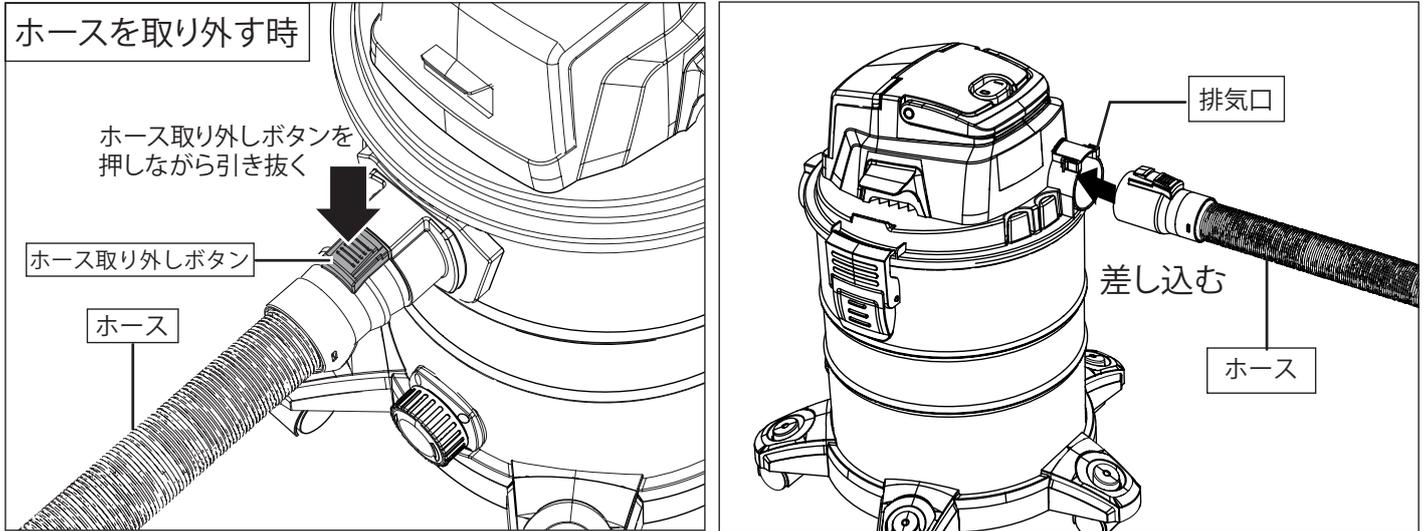
- ・ノズルを完全に液体に浸さないでください。液体を吸い上げる時は空気が入るようノズルと接地面のあいだに必ず隙間を開けてください。
- ・大量の水を繰り返し吸い続けると、フロート弁が作動し吸引を停止する安全機能を内蔵しています。自動停止したらスイッチを切って排水をし、モーターを少し休ませてから再稼働してください。

タンク内に液体が溜まってくるとモーターの回転速度が低下します。排水はパワーヘッドを取り外さなくても、タンクの外側排水口からできます。スイッチをオフにしてから排水口の蓋を反時計まわりに回して開け、中の水分を出し切ったら、蓋を時計回しに戻してしっかり閉めてください。



ブロワーモードでの使用

本機にはバキューム（吸引）の他にブロワー（吹き飛ばし）機能があります。使用する場合はカートリッジフィルターを取り付けてください。バキュームモードからブロワーに切り替える時は、下図の手順でダストタンクに差し込んだホースを外し、パワーヘッドの換気口に付け替えます。



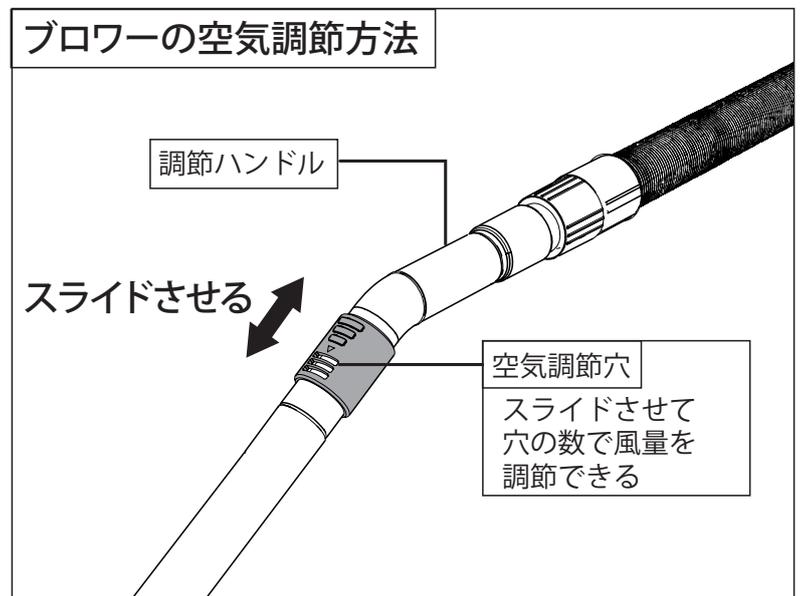
注意

- ・ダストタンクにゴミや液体が入った状態でブロワー機能を使用しないでください。故障の原因となります。
- ・細かい粉塵や土埃をブロワーする場合は、防塵マスクを着用してください。
- ・ブロワーの使用中はホース差込口が吸入口になります。ホース差込口を布や障害物などで覆わないでください。
- ・マフラー、ネックスレス、ストール、髪の毛や腰紐などが吸い込まれないように服装や髪型をあらかじめ整えてください。

吹き出し量の調節方法：

調節ハンドルにある空気調節穴を使用すると吹き飛ばしの風量を調節することができます。ハンドルカバーをスライドさせて空気孔の開く数を変え、風の強弱を調整してください。

※空気調節穴はウェットバキュームモードでも大量の水を吸い込む時の調節弁として使用することができます。



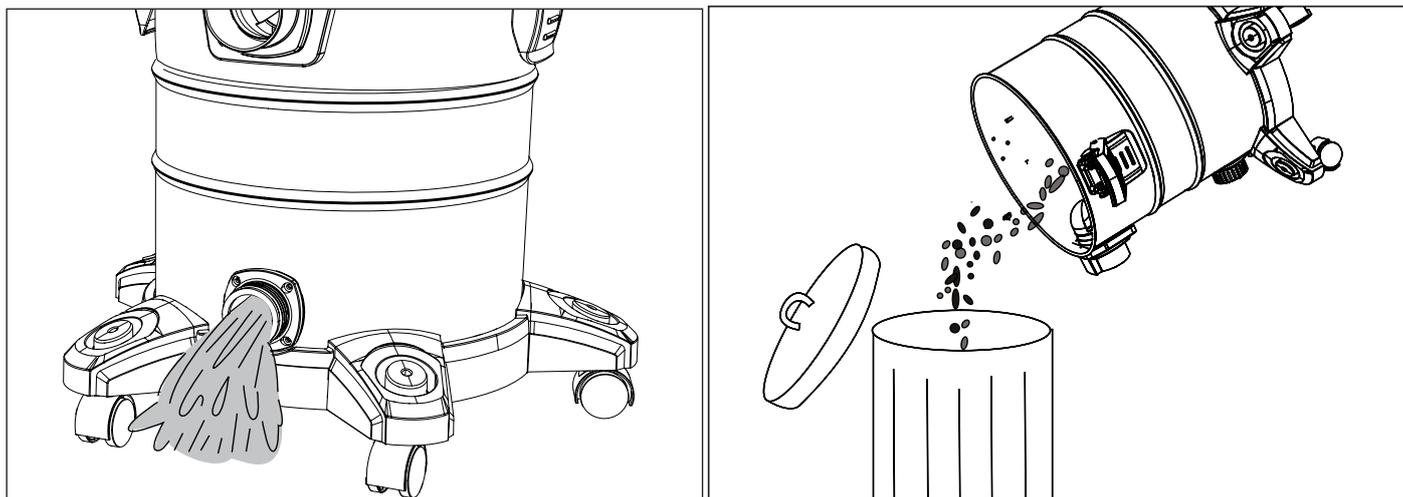
使用後のお手入れと保管

⚠ 警告

- 1, パワーヘッド・バッテリー・充電アダプターを水につけたり、水洗いしないでください。故障や感電の原因となり、大変危険です。
- 2, フィルター、ダストタンク、各種ノズル、ホース、パイプは使用後に必ずクリーニングしてから保管してください。
- 3, お手入れの際、バッテリーを先に外してからパワーヘッドを外すようにしてください。不慮の稼働が起こり大変危険です。

使用後のお手入れ：

タンクは毎回排水し、清掃する必要があります。排水口から水分を流し切って、内部のゴミは取りのぞいてください。タンク内部の汚れがひどい場合は温水ですすいで洗い、十分に水気を拭き取った後よく乾燥させてください。

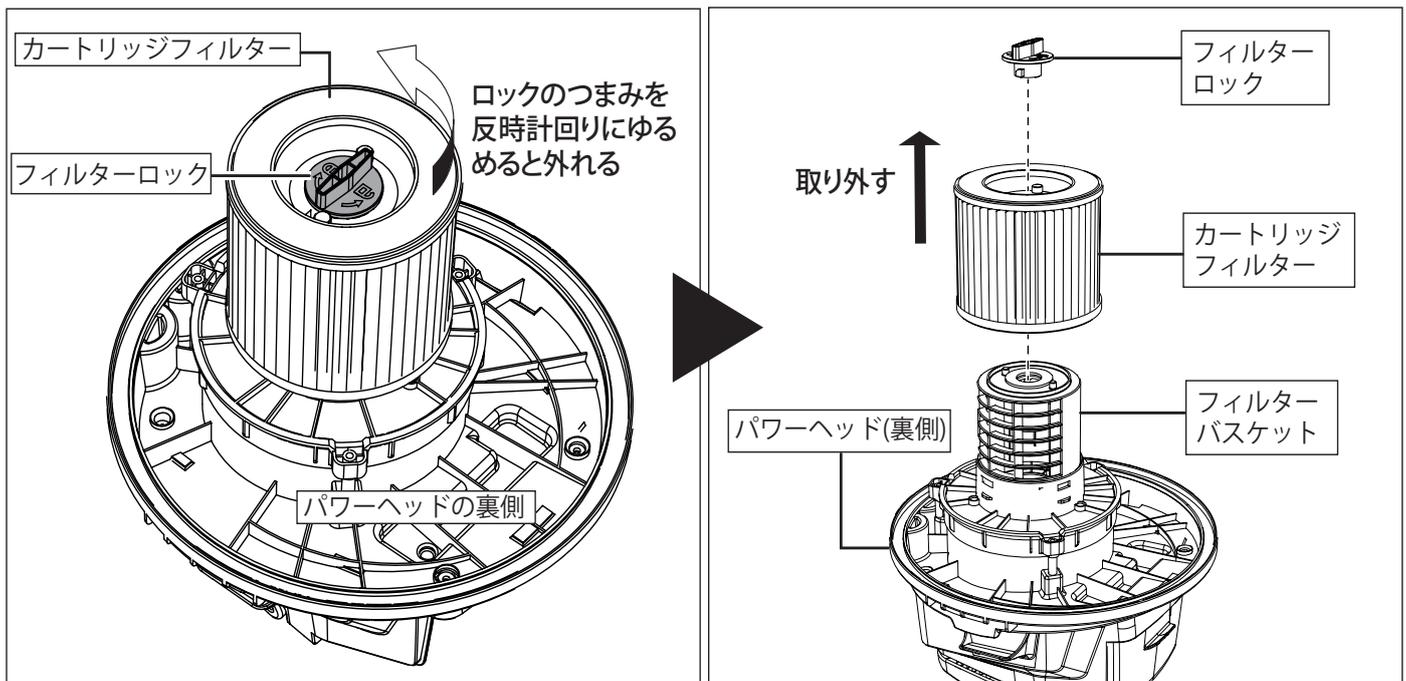


⚠ 注意

- 1, カートリッジフィルターは水洗いできません。
- 2, カートリッジフィルター、スポンジ袋フィルター、紙パックは消耗品です。定期的に新しい付属品と交換してください。
- 3, パイプ、ホース、ダストタンクは水洗いした後よく乾かし、完全に乾燥させてから保管してください。

カートリッジフィルターは取り外し、軽く叩いたり、乾いた柔らかいブラシなどでホコリをよく払って取り除いてください。

スポンジ袋(フィルター)は毎回洗浄する必要があります。よく水洗いをしてスポンジ部についたゴミを取り除いてください。洗浄後は水気を切ってよく乾燥させてください。



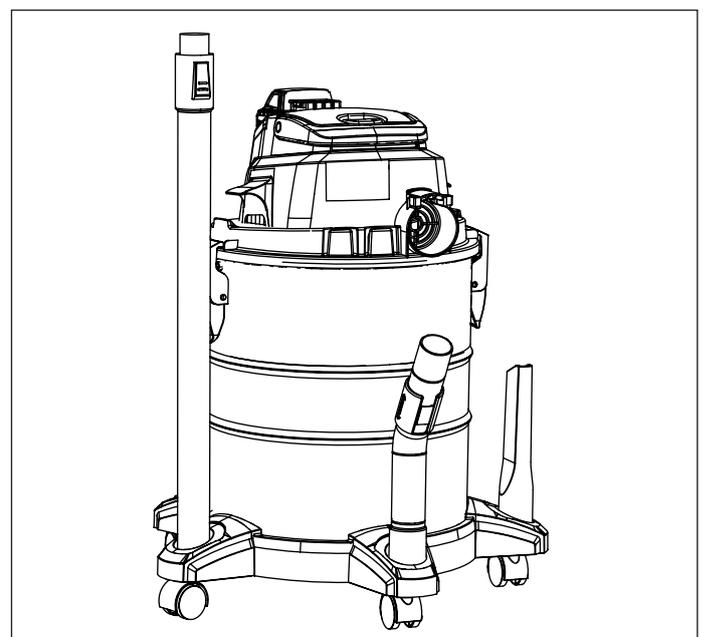
パワーヘッド、フィルターバスケットは乾いた布で水気や汚れを拭き取ってください。絶対に水洗いしないでください。

パイプ、ホース、各種ノズルは水気をよく拭き取り、乾燥させてから保管してください。パイプは伸縮部に水気が残っていないかよく確認してください。バッテリーが汚れた場合は乾いたブラシなどで汚れを落としてください。

保管と運搬：持ち運ぶ際にはバッテリーを取り外し、取手を持って運んでください。パイプやホースを強く引っ張って引き寄せたりしないでください。

バッテリーは取り外して保管するようにしてください。短絡させないために、電極部が金属に触れないようにして保管ください。

収納時、ホースはタンク内に入れ、パイプ、ノズル各種は右図のようにキャスターに据え置くことができます。



故障・修理：

修理はご自分でなさらず、不具合のある場合には直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または弊社にお申しつけください。

